

福島第一原子力発電所 台風9号・10号接近に伴う対策について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 8 月 6 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 台風9号および10号の接近に伴い、当発電所としては、資機材の固縛・養生による飛散防止策や大型移動式クレーンのアンカーウェイトによる固定等の重機転倒防止策を進めております。
- また、一時保管エリアPにおいては、天板ハッチ等のずれがあったノッチタンク2基への養生や、排水溝や排水枡周辺へのゼオライト土嚢設置を実施済みです。
- 台風の影響が予想される8月7日以降については、夏季お盆期間中につき予定作業は減少していますが、気象庁の台風情報を注視するとともに、作業を実施する際は、安全確保を最優先に行ってまいります。なお、台風が福島県浜通り地方に接近した際は、屋外作業を原則中止いたします。

【台風の接近に伴う主な対策】

- ・ 資機材、ケーブル、ホース等の固縛・養生等による飛散防止を実施
- ・ 転倒リスクの高い一部のコンテナや仮設ハウス等の固定・固縛の再確認を実施
- ・ 重機転倒防止策として、構内の大型の移動式クレーン等はアンカーウェイトによる固定等を実施
- ・ 建屋に水が流入する恐れがある箇所について、パトロールおよび必要に応じて養生の実施
- ・ タンク堰内雨水については、雨水回収タンクへ移送を実施
- ・ 排水路等からの漏えい拡大防止処置として、土嚢（含む、ゼオライト土嚢）と吸引作業車を準備

- なお、台風通過後のパトロールについては、作業員の安全を確保したうえで、的確に実施し設備の異常の有無について確認してまいります。